

## 生物

# 校内植生マップの作成

### ● 基本情報

実施科目	生物
実施内容	校内の植生観察
実施規模	本校生徒 16 名 + 海外校の生徒 10 名
実施学年	2 年生
実施形態	グループワーク（本校生徒 4 名 + 海外校の生徒 2～3 名 を 4 班）
難易度	易
事前学習	前の時間に事前に同様のコースを生徒と下見しておく
授業者の英語レベル	日常で英語を話すことはほとんどない
教員の使用言語	解説・指示：日本語      板書：英語      プリント：日本語・英語

### ● 設計の方針

#### ねらい

植生は気温と降水量の違いを大きく受けるので、国による違いが顕著であり、国際交流において両国間の比較をしやすいと考えました。ただ、事前にコースを下見し、自校の生徒自身がある程度植物の見分けがつくようにしておかないと、自校の生徒が教員による解説を待つてしまうので積極的な交流にならないと思います。

#### 教材設計上の工夫

教員が英語を扱えないのであれば、プリントは英語にする必要がある。校内の植物について和名をもとに英名・学名を調べるだけなので、web ページで容易に情報が得られる。

生徒に英語力があっても、生物の専門用語を英訳するのは難しいので、用語集はつける方が良い。

### ● 授業者の雑感

生徒が事前に校内の植物を把握できていたことに加え、シンガポールの生徒が日本の植物について積極的に質問してくれたこともあり、積極的に交流できていました。可能であれば先方にも事前にシンガポールの植物を調べておいてもらえると、より深い交流ができるかもしれません。

校内の植物を中心について学ぶ機会にもなったので、日々の生活や今後の国際交流にも生きる力がついたと思います。

校内の植生を外国の生徒と一緒に見て回る機会はなかなかないので、文化や研究、座学ではない交流が行えたということで、大変意味がありました。

教員もすごく勉強になりました。

● 授業の展開

準備物

プリント(別紙)、クリップボード

生徒の持ち物

筆記用具

時間	教員の活動	生徒の活動
0分	班分け アイスブレイクの指示	班分け 自己紹介等を行う
3分	プリント(A4片面)の配布 クリップボードの配布	
8分	プリントの進め方について説明  植生マップの作成開始 教員が先頭を歩き、その後ろを生徒達が班単位についていく。教員の説明は日本語で行うが、専門用語は英語で伝えるのが良い。	教員の説明(日本語)を聞き海外校の生徒に説明する。  教員の指示(日本語)を聞いて植生マップの作成作業を進めるとともに、海外校の生徒の手助けを行う。
	<p><b>Point! スマートフォンなど BYOD の活用</b></p> <p>授業がアクティブになればなるほど、教員が事前に準備する教材では手に負えなくなる。生徒に電子辞書やスマートフォンなどを適宜活用させ、自分で学びを深めさせる。</p>	
40分	教室に戻る。 教室で植生マップの確認と共有を指示。	教室で植生マップの共有を行う。 観察して気付いたことなどを出し合う。
50分		お互いに挨拶をして終了。